



第107回

私のスケッチブック

「酒屋さんのショーウィンドー」

ニュルンベルク (ドイツ)



下戸な男の独り言…。私は全くお酒が飲みません。最近になってノンアルコールビールを少し飲めるようになりましたが、アルコール類に縁のない人間です。

欧州に行くと葡萄酒を目にしますから、時々ワイナリーを訪れる事もあります。何故ニュルンベルクで酒屋さんを描いたのか？実は「フランケン・ワイン」に興味があって、中心都市であるヴュルツブルクで酒屋を探したのですが、良いお店に出合えなかったのです。

ドイツのワインは殆どがリースリング系で白ワインの生産が中心。しかし、フランケン地方は葡萄栽培の北限に近く寒暖差の激しい地域ですから、メイン川流域の斜面を最大限利用して栽培されたミュラー・トゥルガウやシルヴァーナがメインの品種で、リースリングが極めて少ない地域です。味わった事はないのですが、極めて男性的な辛口のワインだそうです。

そして作品の右手に描かれているのが、独特の横扁平型の瓶で「ボックス・ボイテル」と呼ばれています。この瓶の由来は、ヴュルツブルクを代表するヴュルガーシュピートルが発祥と云われて、欧州でもこのスタイルの瓶はポルトガルにありますが、何とも気になるフォルムに絵心をそそられます。

白ワインと云えば…ブルゴーニュの「シャルドネ100%」のシャブリ。ボルドーのガロンヌ川左岸に位置し「ソーヴィニヨン」で有名なソーテルヌ。そして、ドイツの「リースリング」も銘酒が沢山あるそうですが、フランスに比べて些か不人気。ドイツワインで超有名なのはトロッケンペーレンアウスレーゼと云われる、極上の甘さの貴腐ワインでエレガントな味わいだそうです。私も土産物屋さんの試飲で黄金に輝く一滴をテイasting…、やはり食後のデザート？フランスの銘酒ロマネコンティよりも高値の付いたビンテージもあるとか？？

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。
「第70回 全国カレンダー展」に11度目の入選を果たし、その実力を発揮する。
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

Q 検索